

宿泊約款

適用範囲

第1条

1. 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習によるものとします。
2. 当ホテルが、法令及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

宿泊契約の申し込み

第2条

1. 当ホテルに宿泊契約の申し込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - (1) 宿泊者名
 - (2) 宿泊日及び到着予定時刻
 - (3) 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による）
 - (4) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を越えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で 新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

宿泊契約の成立等

第3条

1. 宿泊契約は、当ホテルが前条の申し込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾しなかったことを証明したときは、この限りではありません。
2. 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間（3日を超えるときは3日間）の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
3. 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第17条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残金があれば、第11条の規定による料金の支払いの際に返還します。
4. 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までにお支払いいただけない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

申込金の支払いを要しないこととする特約

第4条

1. 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に依ることがあります。
2. 宿泊契約の申し込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

宿泊契約締結の拒否

第5条

1. 当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。
 - (1) 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
 - (2) 満室（員）により客室の余裕がないとき。
 - (3) 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序、若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
 - (4) 宿泊しようとする者が、伝染病患者であると明らかに認められるとき。
 - (5) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (6) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
 - (7) 宿泊しようとする者が、泥酔者で、他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。あるいは宿泊者が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。（大阪府旅館業法施行条例第5条）
 - (8) 宿泊しようとする者が、暴力団員又はその関係者、暴力団関係企業・団体又はその関係者、その他反社会勢力（以下「暴力団等反社会勢力」という）であるとき。
 - (9) 宿泊しようとする者が、暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
 - (10) 宿泊しようとする者が、法人でその役員のうち暴力団員に該当する者のあるとき。
 - (11) 宿泊しようとする者が、当ホテル又はその従業員に対し、暴力的要求行為を行い、あるいは合理的範囲を超える負担を要求したとき、又はかつて同様な行為を行ったと認められるとき。

宿泊客の契約解除権

第6条

1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又はその一部を解除した場合（第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。）は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあつては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違反金支払い義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をせずに宿泊日当日の午後8時（あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻）になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

当ホテルの契約解除権

第7条

1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。
 - (1) 宿泊者が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。

- (2) 宿泊者が伝染病者であると明らかに認められるとき。
 - (3) 宿泊に関し合理的な範囲を超える負担を求められたとき。
 - (4) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (5) 宿泊しようとする者が、泥酔者で他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。あるいは宿泊者が他の宿泊者に著しく迷惑を及ぼす言動をしたとき。(大阪府旅館業法施行条例第5条)
 - (6) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る)に従わないとき。
 - (7) 宿泊客が暴力団等反社会勢力であるとき。
 - (8) 宿泊客が暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき。
 - (9) 宿泊客が法人で、その役員のうちに暴力団員に該当する者がいるとき。
 - (10) 宿泊客が他の宿泊者に著しい迷惑行為を及ぼす言動をしたとき。
 - (11) 宿泊客が当ホテル又はその従業員に対し、暴力的要求行為を行い、あるいは合理的範囲を超える負担を要求したとき、又はかつて同様な行為を行ったと認められるとき。
2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

宿泊者の登録

第8条

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - (1) 宿泊者の氏名、年齢、性別、住所及び職業
 - (2) 外国人にあつては、国籍、旅券番号、入国地及び入国年月日
 - (3) 出発日及び出発予定時刻
 - (4) その他ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等の通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを提示していただきます。

客室の使用時間

第9条

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後2時から翌日正午12時までとします。ただし連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には、次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - (1) 超過3時間までは、室料金の30%
 - (2) 超過6時間までは、室料金の50%
 - (3) 超過6時間以上は、室料金の100%

利用規則の遵守

第 10 条 宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めたホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

料金の支払い

第 11 条

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳及びその算定方法は、別表第 1 に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等のこれに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けません。

当ホテルの責任

第 12 条

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えた時は、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、消防機関から適マークを受領しておりますが、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

契約した客室の提供ができないときの取扱い

第 13 条

1. 当ホテルで、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設を斡旋するものとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設の斡旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

委託物の取り扱い

第 14 条

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の申告を求めた場合であって、宿泊客がそれを行わなかったときは、賠償額は旅館賠償責任保険の範囲内とします。
2. 宿泊客が、当ホテル内にお持ち込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについては、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルはその損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の申告のなかったものについては、賠償額は旅館賠償責任保

険の範囲内とします。

宿泊客の手荷物又は携帯品の保管

第 15 条

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、その所持者が判明したときは、当ホテルは、当該所有者に連絡をするとともにその指示を求めるものとします。ただし、所有者の指示がない場合又は所有者が判明しないときは、発見日を含め 7 日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
3. 前 2 項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第 1 項の場合にあっては前条第 1 項の規定に、前項の場合にあっては同条第 2 項の規定に準じるものとします。

(駐車の責任)

第 16 条 宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

宿泊客の責任

第 17 条

1. 宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

支配する言語

第 18 条

1. 本約款は日本語と英語で作成されますが、約款の両文の間に不一致又は相違があるときは、日本語がすべての点について支配するものとします。

管轄及び準拠法

第 19 条

1. 本約款に関して生じる一切の紛争については、当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

別表第1 宿泊料金の算定方法（第2条第1項、及び第11条第1項関係）

		内 訳	税 金
宿 泊 客 が 支 払 う べ き 総 額	宿泊料金(1)	①基本宿泊料 (室料(又は室料+朝食料)) ②サービス料 (①×10%) ③消費税 ④宿泊税	イ 消費税 (①+②)×10%
	追加料金(2)	④飲食料 ⑤サービス料 ⑥その他の利用料金 ⑦消費税	ロ 消費税 (④+⑤)×10% ⑥×10%

別表第2 違約金（第6条第2項関係）

（注）

1. %は基本宿泊料金に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合は、その短縮日数にかかわらず、1日分（初日）の違約金を収受します。
3. 団体客（15名以上）の一部について契約の解除があった場合、宿泊の10日前（その日より後に申し込みをお引き受けした場合にはそのお引き受けした日）における宿泊人数の10%（端数がでた場合には切り上げる。）にあたる人数については、違約金はいただきません。

契約解除の通知 を受けた日		不 泊	当 日	前 日	9 日 前	20 日 前
		契約申し込み人数				
一般	14名まで	100%	80%	20%		
団体	15名～99名まで	100%	80%	20%	10%	
	100名以上	100%	100%	80%	20%	10%

Scope of Application

Article 1.

1. Contracts for Accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to the following Terms and Conditions. Furthermore, any particulars not provided for herein shall be governed by applicable laws and regulations and/or generally accepted practices.
2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices, notwithstanding the preceding paragraph, the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions.

Application for Accommodation Contracts

Article 2.

1. A Guest who intends to apply for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - (1) Name of the Guest (s);
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival;
 - (3) Accommodation Charges (based, in principle, on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No.1); and
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. If during his/her stay, the Guest requests extension of accommodation beyond the date specified in Subparagraph (2) of the preceding Paragraph, this shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

Conclusion of Accommodation Contracts, etc.

Article 3.

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, this shall not apply when it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit fixed by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay (three days in the event the period of stay exceeds three days) by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charges to be paid by the Guest, then secondly for any cancellation charges under Article 6, and thirdly for the reparations under Article 17 as applicable. The remainder if any shall be refunded at the time of payment of the Accommodation Charges as stated in Article 11.
4. If the Guest fails to pay the deposit by the date stipulated in Paragraph 2 of Article 3, the Hotel shall treat the

Accommodation Contract as invalid. However, this shall apply only in the case where the Guest has been duly informed by the Hotel when the period of payment of the deposit is specified.

Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit

Article 4.

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a Special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case where the Hotel has not requested the payment of a deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of the payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as that the Hotel has accepted a special contract as prescribed in the preceding Paragraph.

Refusal of Accommodation Contracts

Article 5.

1. The Hotel may refuse to conclude an Accommodation Contract under any of the following cases :
 - (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions.
 - (2) When the Hotel is fully booked and no room is available.
 - (3) When the Guest(s) seeking accommodation is deemed liable to conduct him/herself in a manner that will contravene the law or act against the public order or good morals in regard to his/her accommodation.
 - (4) When the Guest seeking accommodation is clearly determined to be carrying an infectious disease.
 - (5) When the Hotel is requested to assume an unreasonable burden in regard to his/her accommodation.
 - (6) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of the facilities and/or other unavoidable causes.
 - (7) When a person requesting accommodation in the Hotel is obviously intoxicated and could cause annoyance to other guests or when a person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests.
(Article 5 of Osaka Prefecture Hotel Business Act)
 - (8) When the guest seeking accommodation is a member of an Organized Crime group ("Boryokudan"), a person related to "Boryokudan" affiliated company or group, or any other type of antisocial group.
 - (9) When the Guest seeking accommodation is a company or an organization, which is directly or indirectly controlled by an Organized Crime Group or a member of an Organized Crime Group.
 - (10) When the Guest seeking accommodation is a corporation or organization, whose board member is identified as a member of "Boryokudan".
 - (11) When the Hotel receives demands in a violent fashion or is requested to assume an unreasonable burden with regard to the Guest's accommodations, or when he/she is deemed a person who has previously acted in such a manner.

Rights of the Guest to Cancel Accommodation Contracts

Article 6.

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by duly notifying the Hotel.
2. In the case when the Guest cancels the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the hotel has requested payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 or Article 3 and the Guest has canceled prior to paying), the Guest shall pay cancellation Charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest has been informed of the obligation to pay the cancellation charges in the event of Cancellation by the Guest.
3. In the case when the Guest does not appear by 8p.m. on the accommodation date (or 2 hours after the expected time of arrival if the Hotel has been so notified) and has not notified the Hotel in advance, the Hotel may regard the Accommodation Contract as having been canceled by the Guest.

Rights of the Hotel to Cancel Accommodation Contract

Article 7.

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract in any of the following cases:
 - (1) When the Guest is deemed liable to conduct and/or has conducted him/herself in a manner that will contravene the laws or act against the public order and good morals in regard to his/her accommodation;
 - (2) When the Guest is clearly determined to be carrying an infectious disease;
 - (3) When the Hotel is expected to assume an unreasonable burden in regard to his/her accommodation;
 - (4) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure;
 - (5) When the person requesting accommodation in the Hotel is obviously intoxicated and could cause serious annoyance to other guests or when the person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests. (Article 5 of The Osaka Hotel Business Regulations)
 - (6) When the Guest smokes in bed or vandalizes fire protection facilities, or does not comply with the matters prohibited by our Hotel (limited only to those matters necessary for fire prevention) among the Rules of Use stipulated by the Hotel.
 - (7) When the guest is an Organized Crime Group ("Boryokudan"), a member of an Organized Crime Group ("Boryokudan-in"), a person related to an Organized Crime Group, or other anti-social group.
 - (8) When the guest is a company or an organization, which is directly or indirectly managed by "Boryokudan" or its member.
 - (9) When the Guest is a corporate customer, of which a board member is deemed a "Boryokudan-in".
 - (10) When the Guest significantly annoys other guests.
 - (11) When the Hotel receives demands in a violent fashion or is requested to assume an unreasonable burden with

regard to the Guest's accommodations, or when he/she is deemed a person who has previously acted in such a manner.

2. In the case when the Hotel has canceled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not be entitled to charge the Guest for any of the services which he/she has not received during the contractual period.

Registration

Article 8.

1. The Guest shall register the following particulars at the front desk of the Hotel on the day of accommodation:
 - (1) Name, age, sex, address and occupation of the Guest(s);
 - (2) Nationality, passport number, port and date of entry in Japan (if the Guest is not of Japanese nationality);
 - (3) Date and estimated time of departure; and
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest intends to pay his Accommodation Charges prescribed in Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's cheques, coupons or credit cards, these methods of payment shall be shown in advance at the time of the registration prescribed in the preceding Paragraph.

Occupancy Hours of Guest Rooms

Article 9.

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 2:00p.m. to 12:00p.m. on the next day. However in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy it all day long, except for the days of arrival and departure.
2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the room beyond the time prescribed in the same Paragraph. In this case, extra charges shall be paid as follows:
 - (1) Up to 3hours:30% of the room charge;
 - (2) Up to 6hours:50% of the room charge;
 - (3) More than 6hours:100% of the room charge.

Observance of House Regulations

Article 10.

1. The Guest shall observe the House Regulations established by the hotel, which are posted within the premises of the Hotel.

Payment of Accommodation Charges

Article 11.

1. The breakdown and method of calculation of the Accommodation Charges, etc. that the Guest shall pay is as

listed in the Attached Table No.1.

2. Accommodation Charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid in Japanese currency or by other means such as traveler's cheques, coupons, or credit cards recognized by the Hotel at the front desk at the time of departure of the Guest, or upon request by the Hotel.
3. Accommodation Charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him/her by the Hotel and which are at his/her disposal.

Liabilities of the Hotel

Article 12.

1. The Hotel shall compensate the Guest for any damage if the Hotel has caused such damage to the Guest to in the fulfillment or the non-fulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases when such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.
2. Although the Hotel has received the "Pass Mark" (Certificate of Excellence of Fire Prevention Standards issued by the fire station), the Hotel is covered by Hotel Liability Insurance in order to deal with unexpected fires and/or other disasters.

Procedure When Unable to Provide Contracted Rooms

Article 13.

1. When unable to provide contracted rooms, the Hotel shall arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practical with the consent of the Guest.
2. When alternative accommodation cannot be arranged notwithstanding the provision of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to the reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel shall not be required to compensate the Guest.

Handling of Deposited Articles

Article 14.

1. The Hotel shall compensate the Guest for any loss, breakage or other damage caused to goods, cash or valuables deposited at the front desk by the Guest except in the case when this has occurred due to causes of force majeure. However for cash and valuables, when our Hotel has requested the Guest to report the type and value thereof but the Guest has failed to do so, our Hotel shall compensate the Guest up to the maximum amount stipulated by the Hotel Liability Insurance.
2. The Hotel shall compensate the Guest for any loss, breakage or other damage caused intentionally or through negligence on the part of the Hotel, to goods, cash or valuables which are brought into the premises of the Hotel by the Guest but have not been deposited at the front desk. However, for articles for which the type and

value have not been reported in advance by the Guest, the Hotel shall compensate the Guest up to the maximum amount stipulated by the Hotel Liability Insurance.

Custody of Baggage and/or Belongings of the Guest

Article 15.

1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Hotel shall be liable to keep it only in the case such a request has been accepted by the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the front desk at the time of check-in.
2. When the baggage or belongings of the Guest are found left behind after his/her check-out, and the ownership of the article is identified, the Hotel shall inform the owner of the article and ask for further instructions. When no instructions are given to the Hotel by the owner or when ownership cannot be identified, the Hotel shall keep the article for 7 days including the day it was found, and after this period, the Hotel shall turn it over to the nearest police station.
3. The Hotel's liability in regard to the custody of the Guest's baggage or belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be assumed in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article 14 in the case of Paragraph 2.

Parking Liability

Article 16.

1. The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the keys of the vehicle has been deposited with the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for the damage caused intentionally or through negligence on the part of the Hotel in regard to the management of the parking lot.

Liability of the Guest

Article 17.

1. The Guest shall compensate the Hotel for damage caused intentionally or through negligence on the Part of the Guest.

Dominant Language

Article 18.

1. This contract is written in both Japanese and English. However, if there are discrepancies or differences between the Japanese and English language contracts, the Japanese version shall take precedence in all cases.

Jurisdiction and Proper Law

Article 19

1. All disputes arising from this contract shall be resolved in accordance with Japanese Laws at the Japanese Court having jurisdiction over the location of the Hotel.

Attached Table No.1: Method for Calculation of Accommodation Charges, etc. for Hotels.

(Ref. Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article11)

		Contents	Taxes
Total amount to be paid by the Guest	Accommodation Charges	①Basic Accommodation Charge Room Charge (or Room Charge + Breakfast) ②Service Charge (①×10%) ③Consumption Tax ④Accommodation Tax	a. Consumption Tax (①+②) × 10%
	Extra Charges	④Meals, Drinks and other expenses ⑤Service charge (④×10%) ⑥Other miscellaneous expenses ⑦Consumption tax	b. Consumption Tax (④+⑤) × 10% ⑥×10%

Attached Table No. 2: Cancellation Charges.

(Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Remarks:

1. The percentage indicates the rate of cancellation charge based on the Basic Accommodation Charges.
2. When the number of contracted days is shortened, cancellation charges for the first day shall be paid by the Guest regardless of the number of days shortened.
3. When part of a group booking (for 15 persons or more) is cancelled, cancellation charges shall not be charged for the number of persons, equivalent to 10% of the number of persons booked as of 10 days prior to the occupancy (When accepted less than 10 days prior to the occupancy, as of that date), with fractions rounded up to the next whole number.

Contracted Number of Guests	Date of Notification of Contract Cancellation	No Show	Accommodation Day	One Day prior to Accommodation Day	Nine Days prior to Accommodation Day	20 Days prior to Accommodation Day
		1 to 14	100%	80%	20%	
15 to 99	100%	80%	20%	10%		
	100 and over	100%	100%	80%	20%	10%

利用規則

当ホテルでは、すべてのお客様に安全かつ快適にお過ごしいただくため、宿泊約款第 10 条に基づき、下記の通り利用規則を定めておりますので、ご協力くださいますようお願い申し上げます。この規則をお守りいただけない時は宿泊約款第 7 条第 1 項により、ご宿泊またはホテル内の諸施設のご利用をお断り申し上げます。また、この規則を守られないことによって生じた事故については、当ホテルは責任を負いかねますので特にご留意くださるようお願い申し上げます。

- 1 ご到着後直ちに客室入口ドアの裏側に掲示してある避難経路図及び各階の非常口をご確認ください。
- 2 ベッドの中など火災の発生しやすい場所及び廊下やロビーでの歩行中の喫煙はご遠慮ください。
- 3 客室内では火災の原因となるような行為はなさないで下さい。また暖房用、炊事用などの熱を発生する器具及びアイロン等を ご使用にならないで下さい。
- 4 ホテル内に次のようなものはお持ち込みにならないで下さい。
 - (B) 動物などその他のペット類一般
 - (C) 火薬、揮発油その他発火、引火しやすいもの
 - (D) 悪臭、異臭を発生するもの
 - (E) 常識的な量を越える物品
 - (F) 法により所持を許可されていない銃、刀剣、覚醒剤の類
 - (G) その他、他のお客様の安全性を脅かす物と認められるもの
- 5 ホテルで賭博その他風紀を乱し、他人に迷惑をかけるような行為をなさないで下さい。
- 6 ホテル内で、他のお客様にご迷惑を及ぼすような音声、放歌、または、喧騒な行為はなさないで下さい。
- 7 睡眠薬その他の薬物の使用により、他のお客様あるいはホテルに迷惑をかける行為はなさないで下さい。
- 8 他のお客様に不快感をあたえたり、迷惑をおかけするような疾病をお持ちの方のホテル利用はお断りさせていただきます。
- 9 客室から出られるときは、施錠をご確認下さい。ご入室中や特にご就寝の時は、内鍵とドアアームをおかけ下さい。訪問者がございます場合は、ドアスコープでご確認されるか、ドアアームを掛けたままドアを半開きにしてご確認下さい。
- 10 ご訪問客と客室内でのご面会にご遠慮願います。
- 11 客室は宿泊以外の目的にご使用にならないで下さい。
- 12 客室やロビーを事務所や営業所がわりとしてご使用になることはお断りさせていただきます。
- 13 館内の諸設備及び諸物品についてのお願い
 - (A) その目的以外の用途にご使用なさないで下さい。
 - (B) ホテルの外へ持ち出さないで下さい。
 - (C) 他の場所に移動したり加工したりしないで下さい。
- 14 館内外の諸設備、備品の汚損、破損、紛失については、実費を申し受けます。
- 15 ホテル内では他のお客様に広告物の配布や物品の販売をするような行為はなさないで下さい。

- 16 ゆかた、パジャマ、スリッパ等で廊下等客室外にお出にならないで下さい。
- 17 ホテル外から飲食物等のご注文やお持ち込みはなさないで下さい。
- 18 ホテル内のレストラン・バー等をご署名によってご利用される場合は、ルームキー又は宿泊カードをご提示下さい。
- 19 公衆電話はロビーにございます。客室内よりお電話をご利用の際は、施設利用料が加算されますのでご了承下さい。
- 20 ご滞在中の現金、貴重品の保管には客室内の金庫（無料）をご利用下さい。金庫につきましては、お客様の責任においてご利用下さい。当ホテルでは現金、貴重品の責任は一切負うことは出来ませんのでご了承下さい。
- 21 お忘れ物は発見した日から一定期間当ホテルで保管し、その後は遺失物法に基づいてお取り扱いさせていただきます。
- 22 ご予約の無い場合又は宿泊当日のご予約は原則としてお預り金を申し受けます。
- 23 ご予定の宿泊日数を変更なさる場合は、予めフロント係員にご連絡下さい。ご延長の場合はそれまでのお支払をお願い申し上げます。
- 24 ご滞在中、フロントからお勘定書の提示がございましたらその都度お支払い下さい。
- 25 お買物代、切符代、タクシー代、郵便切手代等のお立て替えはお断りさせていただきます。
- 26 未成年のみのご宿泊は保護者の許可のない限りお断りさせていただきます。
- 27 ホテル内で撮影された写真等を許可なく営業上の目的で公になさることは、法的措置の対象となることがありますのでご注意ください。
- 28 勝手ながら所定の税金のほかお勘定の 10%をサービス料として加算させていただきます。従業員への心づけはご辞退申し上げます。

House Regulations

Every guest is requested to observe and comply with the following Regulations to maintain the dignity of the hotel and to ensure that all Hotel guests have a pleasant and safe stay, in accordance with Article 10 of the Terms and Conditions for Accommodation Contracts. If a Guest does not comply with the House Regulations, the Hotel may refuse further use by the Guest of the Guest's Hotel room and other Hotel facilities pursuant to Section 1 of Article 7 of said Contracts. The Hotel will not be liable to any Guest for any accident caused by his/her failure to comply with the House Regulations.

1. Please review the emergency exit instructions posted on the inside of the guest room door and locate the emergency exits on your floor promptly upon your arrival.
2. Please refrain from smoking in bed or other parts of the Hotel that can easily catch fire.
3. Kindly refrain from any act that will likely cause fire, and from using heaters, cooking appliances, or irons in the Guest Rooms.
4. Please do not bring any of the following onto the premises of the Hotel:
 - (a) pets and other animals in general ;
 - (b) gunpowder, oils or other explosives or inflammables;
 - (c) objects emitting a foul odor;
 - (d) objects of an unusually large size or in unusually large quantities;
 - (e) firearms, swords, drugs, or other articles, the possession of which is prohibited by the laws of Japan; and
 - (f) objects that are recognized to jeopardize other people's safety.
5. Gambling or other acts which are contrary to good morals or which cause an annoyance are strictly prohibited.
6. Please refrain from making loud noises, singing loudly or behaving in a manner that cause annoyance to other guests or the Hotel.
7. Use of drugs (including sleeping pills) which cause an annoyance to other guests or the Hotel are strictly prohibited.
8. The Hotel shall refuse to accommodate people carrying a disease which causes an annoyance to other guests.
9. Please make sure the door is properly locked when leaving your room. Also, make sure to lock and use the door latch when you are in the room, especially at nighttime. Please identify any visitor through the door scope or by opening the door partially without undoing the door latch.
10. Please refrain from inviting visitors to your guest room.
11. Please refrain from using your room for purposes other than accommodation.
12. Neither guest rooms nor the lobby shall be utilized for any business activity.
13. Rules Regarding Equipment and fixtures on the Premises are as follows:
 - (a) Refrain from using equipment and fixtures for purposes other than those intended.
 - (b) Please do not remove equipment or fixtures from the Hotel.
 - (c) Removal or alteration of equipment or fixtures is prohibited.
14. You will be charged for any damage, breakage and loss to the Hotel's property caused by you or by your guests.

15. The distribution or display of advertisements and the sale of goods on the premises of the Hotel are prohibited.
16. A bathrobe (yukata), pajamas and slippers have been provided for your use in your guest room. Kindly refrain from going out of your room in yukata, pajama or slippers.
17. The ordering of meals and drinks to be delivered from outside the Hotel is not permitted.
18. Kindly show your room key or guest card when signing for any bills in the Hotel's restaurants, bar, or other facilities.
19. Public telephones are located in the main lobby. A facility charge will be added to each outgoing call made from your room.
20. Safety box for money and valuables are available free of charge in the guest room. The Hotel will not be liable for the loss or theft of valuables.
21. The Hotel shall keep articles left on the premises of the Hotel for a period considered appropriate by the Hotel, and shall then surrender them to the appropriate authorities in accordance with the Lost Goods Act.
22. The Hotel shall ask for a deposit to the Guest when the Guest has not made a prior reservation or when the Guest makes a reservation on the day of arrival.
23. When the Guest wishes to change the period of stay, he/she shall notify the front clerk in advance. In the case of extensions, the Hotel shall ask the Guest to pay for all charges equivalent to the stay period up to the point when the stay is extended.
24. Please pay your bills whenever requested by the Front Cashier while staying at the Hotel. All bills are due upon demand.
25. The Hotel will not pay on behalf of a Guest for such expenses as shopping bills, tickets, taxi fares or postage.
26. Minors are prohibited from staying without being accompanied by an adult unless permission is obtained from guardians.
27. Guests are reminded that unauthorized publication for commercial purposes of photographs taken on the premises of the Hotel may be subject to legal action.
28. A 10% service charge and taxes at the rate prescribed by applicable laws shall be added to your bill. You are cordially requested not to give tips to Hotel employees.